



岐阜信用金庫



2023年4月27日

公益財団法人ぎふしん記念財団
理事長 住田 裕綱

「岐阜アートギャザリング 2023」開催について

公益財団法人ぎふしん記念財団（理事長 住田裕綱）は、地域住民の福祉の向上、地域の文化・芸術の振興を目的とした事業及び寄付を行っております。今般、岐阜市内における回遊性促進と文化振興を目的とした、下記内容で開催される「岐阜アートギャザリング 2023」への助成を行います。当財団は当事業への協力を通して、岐阜市内の賑わい創出と持続可能なまちづくりに貢献してまいります。

記

1. 展覧会名 「岐阜アートギャザリング 2023」
2. 展覧会場 岐阜信用金庫本店ギャラリー（岐阜市神田町6丁目11番地）
十六銀行本店ギャラリー（岐阜市神田町8丁目26番地）
柳ヶ瀬画廊（岐阜市柳ヶ瀬通3丁目21番地）
ぎふメディアコスモス（岐阜市司町40番地5）
3. 展覧会期 2023年5月8日（月）～2023年5月26日（金）まで
※ぎふメディアコスモス会場のみ 2023年5月3日（水・祝）～2023年5月14日（日）
※開場時間・休場日は各会場に準ずる
4. 観覧料 無料
5. 主催 ぎふアートギャザリング実行委員会
6. 後援 岐阜市、公益財団法人岐阜県教育文化財団
7. 助成 公益財団法人ぎふしん記念財団、公益財団法人十六地域振興財団
8. 協力 池袋モンパルナス回遊美術館実行委員会、池袋アートギャザリング事務局
岐阜信用金庫、十六銀行、岐阜市中心市街地回遊性協議会、株式会社かみ屋
合同会社柳ヶ瀬まちづくり会社、協同組合美術商交友会
株式会社ロイドワークスギャラリー、有限会社アート柳ヶ瀬 柳ヶ瀬画廊

9. 「岐阜アートギャザリング」とは

岐阜市と東京都豊島区との都市間交流に伴い、豊島区で開催されている「池袋アートギャザリング公募展」の選抜アーティストを岐阜市内で展示・紹介する試みです。

近年、両都市は所蔵する美術作品の交流展示や中心市街地における再整備、古い建物のリノベーション等、様々な分野で連携を高めており、本活動を通じてさらなる発展を目指しています。

アーティストの作品はひとつの会場で展示されるのではなく、「岐阜のまち」の各会場で紹介展示します。

文化交流にとどまらず、会場から会場へ、「岐阜のまち」を歩き、市民の方々にまちの魅力を発見・再発見する機会を創出したいとの願いもこめられた企画です。

以 上



岐阜市へのアクセス



JR東海道本線にて
名古屋駅から
岐阜駅まで約18分



マイカー
東名・名神・
東海北陸自動車道にて
岐阜各務原ICから
岐阜市内まで約20分

メディアコスモス 会場

柳ヶ瀬画廊 会場

岐阜高島屋 美術画廊

十六銀行 会場

岐阜信用金庫 会場

1 岐阜県美術館

岐阜県図書館



Gifu-ride

いつでも自由に借りて 自由に返せる

岐阜市シェアサイクル

「Gifu-ride」は、岐阜市内各所に設置されたサイクルポートで、24時間*自由に借りて、自由に返却できる自転車貸出サービスです。目的に合わせて、短時間から利用できます。「岐阜アートギャザリング2023」会場をまわる際にぜひご活用ください。*一部ポートを除く

利用方法・料金・サイクルポート一覧等の詳細は、右記のQRコードより専用HPをご覧ください。



岐阜バス

中心部ループ線

濃姫バス

大人100円 小人50円

バスループ詳細・時刻用は、右記のQRコードより専用HPをご覧ください。



●各会場最寄りバス停

十六銀行会場 ——— バス停「名鉄岐阜」

岐阜信用金庫会場 ——— バス停「金宝町」

メディアコスモス会場 ——— バス停「岐阜市役所・メディアコスモス」

柳ヶ瀬画廊会場 ——— バス停「金華橋通り柳ヶ瀬」

問い合わせ先

ぎふアートギャザリング実行委員会

事務局(柳ヶ瀬画廊内)岐阜県岐阜市柳ヶ瀬通3丁目21番地
TEL 058-262-3481 FAX 058-262-3786 <https://gifuartgathering.com/>



会期中の近隣美術施設の展示案内

1 岐阜県美術館

新収蔵品お披露目展

2023年4月11日(火) — 6月18日(日)
10:00 — 18:00

休館日: 月曜日(祝・休日の場合はその翌平日)
※企画展開催中の第3金曜日は20:00まで
※展示室への入場は閉館30分前まで

岐阜市宇佐4-1-22
TEL 058-271-1313
<https://kenbi.pref.gifu.lg.jp/>



塔本シスコ[ひまわりの中で インコ]
(1987年)岐阜県美術館蔵

2 加藤栄三・東一記念美術館

第1展示室(公財)ぎふしん記念財団助成事業

加藤栄三・東一 素描の魅力

2023年4月25日(火) — 7月23日(日)

第2展示室 池袋モンパルナス回遊美術館

池袋アートギャザリングselection

2023年4月25日(火) — 6月11日(日)

9:00 — 17:00

休館日: 月曜日(5月1日(月)は開館)

※入館は閉館30分前まで

岐阜市大宮町1-46(岐阜公園内)
TEL 058-264-6410
<https://www.rekihaku.gifu.gifu.jp/katoukinen/>



渡辺佑基[10001101000101]
パネルにアクリル顔料・204×204cm
(2019年)

3 三甲美術館

文化勲章受章者展

～日本画 春の絵編～

2023年3月1日(水) — 5月29日(月)

9:00 — 17:00

休館日: 火曜日

※5月20日(土)は催事日のため要予約

岐阜市長良福土山3535
TEL 058-295-3535
<https://sanko-museum.or.jp/>



東山魁夷[高原]

4 岐阜高島屋 美術画廊

青木年広油絵展

2023年5月10日(水) — 5月15日(月)

10:00 — 18:00

休館日: なし

※最終日は17:00閉場

岐阜市日ノ出町2-25 岐阜高島屋8階
TEL 058-264-1101
<https://www.takashimaya.co.jp/sp/gifu>



青木年広[清流・流れ込む]
油彩画、F50号(2022年)

連動イベント(東京都豊島区)のお知らせ

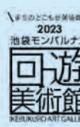
一街とアーティストをつなぐ

池袋アートギャザリング公募展

IAG AWARDS 2023 EXHIBITION

会期: 2023年5月14日(日)~5月24日(水) 会場: 東京芸術劇場 5F Gallery1&2

主催: 池袋モンパルナスまちど美術館 実行委員会(NPO法人ゼファー池袋まちづくり / 立教大学 / 東武百貨店 / 豊島区)



詳細: <https://kaiyu-art.net>



岐阜アート
ギャザリング
2023

2023.5.8 [MON]

※ただしメディアコスモス会場のみ 5月3日(水・祝)~5月14日(日)の開催

5.26 [FRI]

第39回国民文化祭 第24回全国障害者芸術・文化祭
「清流の国ぎふ」文化祭2024

ともに・つなぐ・みらいへ ~清流文化の創造~
2024年10月14日(月・祝)~11月24日(日)



主催 / ぎふアートギャザリング実行委員会

後援 / 岐阜市、公益財団法人岐阜県教育文化財団

協力 / 十六銀行、岐阜信用金庫、岐阜市中心市街地回遊性協議会、合同会社柳ヶ瀬まちづくり会社、株式会社かみ屋、協同組合美術商交友会、株式会社ロイドワークスギャラリー、有限会社アート柳ヶ瀬 柳ヶ瀬画廊、池袋モンパルナス回遊美術館 実行委員会(豊島区、立教大学、東武百貨店、NPO法人ゼファー池袋まちづくり)、池袋アートギャザリング事務局(一般社団法人JIAN)

メディアコスモス会場・共催 / みんなの森 ぎふメディアコスモス自主事業実行委員会

助成 / 公益財団法人十六地域振興財団、公益財団法人ぎふしん記念財団

申請中 / 公益財団法人岐阜県教育文化財団助成事業

A 十六銀行会場



住所 岐阜市神田町8丁目26
十六銀行本店1階ギャラリー
開場時間 9:00～15:00
休場日 土日祝
アクセス 名鉄岐阜駅より徒歩1分、
JR岐阜駅より徒歩5分
入場料 無料



【首都高ミルキーウェイ】
ミクストメディア、45.5×38cm (2023年)

石田 麻衣
ISHIDA Mai

日本の伝統文化である書のみしや日本語の表現を用いて、独自の世界を創造し、「現在と過去」「記憶と現実」「見えるものと見えないもの」のように対立した要素、現在では失われた事物の意味や価値を追求している。

作中の和歌:あめのうみに雲の波たち月の舟 星の林に漕ぎかくる見ゆ(柿本人麻呂)



【三つの穴】
混合技法(油彩・テンペラ)、167×62.4cm

坂本 匡之
SAKAMOTO Tadayuki

記憶の底から掘りあげるように、抽象化・象徴化された「今」の人や扉、空間を描く。油彩で下地を施したあと、テンペラ技法による細い線で画面全体を埋め尽くす行為を繰り返し、時間をかけて少しずつ絵の姿を形づくっていく。

B 岐阜信用金庫会場



住所 岐阜市神田町6丁目11番地
岐阜信用金庫本店1階ギャラリー
開場時間 9:00～15:00
休場日 土日祝
アクセス 名鉄岐阜駅より徒歩6分、
JR岐阜駅より徒歩10分
入場料 無料



【名和昆虫博物館】
水墨画(墨・美濃紙)、32×26.5cm

中島 淳志
NAKASHIMA Atsushi

普段は古代ギリシャ・ローマの遺跡や遺物を、東洋の伝統的な技法である水墨画を用いて描いているが、本展では初めての試みとして日本の風景画を発表。描いた景色は岐阜を舞台とした文学作品に登場する地で、過去と現在が交錯する。



【羊 no.8】
木材(ケヤキ)・インテリアファブリック・ウレタンフォーム・綿・くるみボタン・
鋳・鉄媒染液・家具用オイル塗料、H46×W70×W30cm (2022年) (参考画像)

会期中柳ヶ瀬画廊にも作品展示予定

北奥 美帆
KITAOKU Miho

岐阜県高山市での木製家具の制作にはじまり、家具の構造と作り方をベースに動物型の作品群などを制作する。独立後の現在は、主に羊や牛といった古代から人間と深い関係のあった家畜や動物のツールやオブジェを手掛けている。

C メディアコスモス会場

期間限定公開

5月3日(水・祝)
5月14日(日)開催



住所 岐阜市司町40番地5
1階ドキドキテラス
開場時間 9:00～21:00 ※最終日は16時開場
休場日 なし
アクセス JR岐阜駅または名鉄岐阜駅より徒歩約25分、
バスでお越しの場合「岐阜市役所・メディアコスモス」バス停下車すぐ

バスの路線については他路線もございます。詳しくはこちらをご覧ください▶



入場料 無料

D 柳ヶ瀬画廊会場



住所 岐阜市柳ヶ瀬通3丁目21番地
開場時間 11:00～17:00
休場日 火曜水曜
アクセス 名鉄岐阜駅・JR岐阜駅より
徒歩17分(岐阜高島屋北)
入場料 無料



【菊さん】
ペン画、36.4×25.7cm (2022年)

石松 千明
ISHIMATU Chiaki

世間的にはよしとされていない多彩な不美に着目し、不美とされているものたちのきらめきを見出すための「不美人画」の制作を続ける。初めに感情を見つけ、その感情を日本画の絵具やペンをういて肉付けし、作品に変えていく。



【花のように】
アクリルガッシュ・パステル、M6号 (2023年)

高津 ゆい
TAKATSU Yui

動植物を主なモチーフとし、彼らの潜在的な強さや美しさ、またそこから個々の物語を膨らませて描き上げる。本展では近年使い始めたパステルを用いて、新たな絵具表現の作品を展示する。



【Book】
日本画(紙本彩色)、22×27.3cm (2023年)

田村 幸帆
TAMURA Sachiko

室内風景と、黒い犬と白い猫、そして装飾的な模様によって構成された日本画を制作し、画面に銀箔を用いることで角度によって異なる見え方をする楽しさも表現。近年は屋外風景を描くことも増え、新たな展開を迎えている。



【漫画の中の絵画(昏い喫茶店)】
ドローイング、80×67cm (2022年)

東 春予
HIGASHI Haruyo

漫画の1コマあるいは1ページを、物語に回収される一部分としてではなく、独立した一瞬そのものとして一枚の絵画に提示し保護する。連なる存在でありながら物語に回収されることに抗う瞬間、個々が個々のためにあることの表現を試みている。



【来訪】
日本画(紙本着色)、22.7×22.7cm (2022年)

村田 茜
MURATA Akane

人や静物、風景のモチーフとモチーフの交流を、絵画やアニメーションを通して描く。岩絵具の粒子や箔、胡粉の質感を用いて、匂いや光の温度、時間の手触りを感じられるような、実感のある画面を制作し続けている。



岐阜アートギャザリング 2023
2023.5.8 [MON] — 5.26 [FRI]

※ただしメディアコスモス会場のみ 5月3日(水・祝)～5月14日(日)の開催

「岐阜アートギャザリング(GAG)」は、岐阜市と東京都豊島区との都市間交流に伴い、豊島区にて2017年より開催されている「池袋アートギャザリング公募展 IAG AWARDS (IAG)」の選抜作家を中心に岐阜市内で紹介する試みです。

近年、両都市は所蔵する美術作品の交流展示や、中心市街地における公園の再整備等、様々な分野で連携を深めており、本企画を通じて更なる発展を目指しています。

本企画「岐阜アートギャザリング」は、2022年にはじまり、今年で2度目の開催を迎えました。

展示作品は特定の会場に集められるのではなく、岐阜のまちの各会場で展示しています。作品を紹介して、会場から会場へ、岐阜のまちを歩き、いつものまちの魅力を再発見できる…そんな体験・時間も広めたいと思っています。

— アートを通じてぎふの魅力を再発見 —